

令和3年度進行管理・評価シート
名古屋市歴史的風致維持向上計画（平成26年2月14日認定）

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 計画の実施・推進体制		1
--------------	-------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観計画		2
--------	-------	---

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備		3
2 名古屋城二之丸庭園の整備		4
3 名古屋城石垣の整備		5
4 重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の 保存・公開と市政資料館としての活用		6
5 文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営		7
6 文化のみち榎木館の管理運営		8
7 名古屋市役所本庁舎及び愛知県庁舎の歴史的価値の維持向上		9
8 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)		10
9 歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榎木地区)		11
10 歴史的町並み保存事業(四間道地区)		12
11 徳川園の管理運営		13
12 蓬左文庫の保存と公開活用		14
13 堀川の総合整備		15
14 尾張名所図会看板の整備		16
15 中川運河の再生		17
16 栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)		18
17 史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		19
18 歴史的建造物の登録・認定		20
19 なごや歴まちびとの派遣		21
20 文化のみちの推進		22
21 指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業		23
22 まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援		24
23 名古屋城本丸御殿障壁画復元模写		25
24 名古屋城本丸御殿障壁画保存修理		26
25 郷土ゆかりの文学資料室		27
26 水上交通ネットワークの検討		28
27 「ものづくり文化の道」推進事業		29
28 中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業		30
29 熱田区役所における歴史資料展示		31
30 名古屋まつり		32
31 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、 及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業		33
32 伝統産業若手育成事業助成		34

33 伝統産業新商品開発事業助成		35
34 伝統産業製品PR事業助成		36
35 名古屋市民芸術祭		37
36 なごや子どものための巡回劇場		38
37 名古屋市芸術文化団体活動助成		39

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の 策定・見直しなど		40
2 文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の 周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など		41
3 防災に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) 文化財防火デー等の防災訓練の取組		42
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援 4 (保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、 民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		43
5 埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)		44

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 45

⑥その他(様式1-6) 46

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 47

評価軸①
組織体制

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
計画の実施・推進体制			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	観光文化交流局歴史まちづくり推進室及び教育委員会文化財保護室を中心とした庁内組織である「名古屋市歴史的風致維持向上計画連絡会議」と、学識経験者らで構成される「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」が連絡調整を行いながら事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
これまでに以下の内容で「名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会」を開催。 平成27年5月…平成25・26年度分進捗評価 平成28年3月…平成27年度分進捗評価 平成29年5月…平成28年度分進捗評価、平成26～28年度総括評価 平成30年5月…平成29年度分進捗評価 令和元年5月…平成30年度分進捗評価 令和2年5月…令和元年度分進捗評価(書面会議) 令和3年5月…令和2年度分進捗評価、平成26～令和2年度中間評価(書面会議)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度に引き続き懇談会を 書面開催とした。今後も開催形式は社会状況等を鑑みて臨機応変に対応していく。市民 団体等との連携については、今後はオンラインと対面との併用を検討するなど、多様な 形式での連携も考慮する。		
状況を示す写真や資料等			
【法定協議会】 名古屋市歴史的風致維持 向上計画懇談会 ●学識経験者や行政で構成 提案 意見 【庁内組織】 名古屋市歴史的風致維持 向上計画連絡会議 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室 教育委員会文化財保護室 ・総務局 ・観光文化交流局 ・経済局 ・住宅都市局 ・緑政土木局 国 愛知県 名古屋市文化財調査委員会 名古屋市広告・景観審議会 市民・市民団体 事業の実施 計画の推進体制			

評価軸②

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況		
景観計画		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		
計画に記載している内容	都市景観形成地区における良好な景観形成、景観上重要な建造物等についての保全(景観重要建造物・景観重要樹木・都市景観重要建築物等)、屋外広告物の規制			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築・増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、良好な景観形成に努めた。				
・都市景観形成地区における届出件数		[令和2年度]	165件	[令和3年度] 130件
・都市景観重要建築物等への助成		[令和2年度]	1件	[令和3年度] 0件
・屋外広告物許可		[令和2年度]	11,529件	[令和3年度] 11,478件
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		・地域の特色に合わせた景観形成基準等に基づく助言・指導の実施。 ・四間道都市景観形成地区指定をきっかけとして那古野一丁目地区の景観まちづくりを推進しているが、景観に関するルールづくり等について具体的な検討が必要。		
状況を示す写真や資料等				

〇名古屋市景観計画

「歴史の深みを感じさせるまち」を始めとする4つの目指すべき都市のイメージの実現を図ることを全体方針に掲げ、良好な景観の形成を図っている。

1. 都市景観形成地区(8地区)

届出等の制度により景観形成基準等への適合を確認し、助言・指導等を実施。(建築物・工作物/広告物)

【令和3年度の届出等の状況(件数)】

地区名	建築物・工作物	広告物	地区名	建築物・工作物	広告物
久屋大通	6	19	築地	3	6
広小路・大津通	5	34	今池	3	5
名古屋駅	7	15	白壁・主税・槿木	6	0
四谷・山手通	9	11	四間道	1	0

合計130件

2. 大規模建築物等

届出等の制度により景観形成基準等への適合を確認し、助言・指導等を実施。

【令和3年度の届出等の状況】建築物・工作物 198件、広告物 56件

3. 眺望景観の保全

平成31年4月より名古屋城眺望景観保全エリアと景観形成基準を新たに設け、大規模建築物等の届出等の制度により、助言・指導等を実施。

【令和3年度の届出等の状況】建築物 7件(内通知1件)

4. 屋外広告物

都市景観形成地区内の屋外広告物及び大規模な屋外広告物について、色彩などの制限を定め、屋外広告物条例による、表示や設置に関する規制と合わせて助言・指導を実施。

【令和3年度の届出等の状況】広告物 146件

〇新たな地区の検討(那古野一丁目地区の景観まちづくり)

1. 景観まちづくりの推進

①事業の概要

・平成31年4月、四間道都市景観形成地区制度の運用を開始した。そして令和3年6月、「那古野一丁目地区景観協定」が地元において締結され、景観協定の運用が始まった。

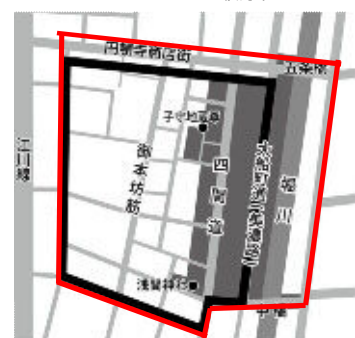
②経緯

・地元勉強会・準備会開催(平成30年～令和2年6月計13回)
 ・推進委員会の設立・開催(令和2年7月～計8回)

③今後の進め方

・都市景観市民団体となった推進委員会に市民団体助成の交付を実施する
 ・令和3年に実施したアンケート結果を踏まえ、地区計画の検討を行う

〇 街なみ環境整備事業
 対象区域



< 検討中のエリア >

2. 街なみ環境整備事業の推進検討

①事業の概要

・四間道地域全体の魅力向上を図るため、国の補助制度である街なみ環境整備事業の制度を活用し、建物リノベーション支援モデル事業を実施するとともに、電線地中化や防災、建物の修景などの実現に向け検討する。

②今後の進め方

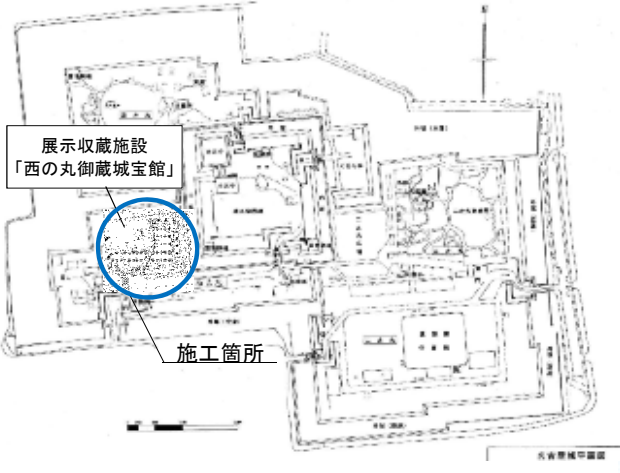
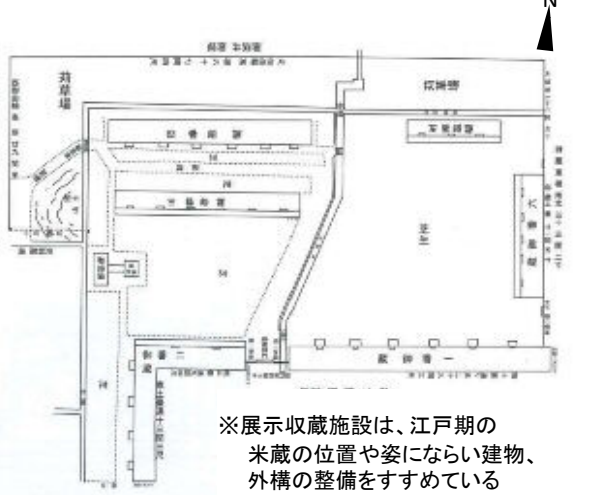
・権利者や関係団体とリノベーション事業実施に向けた調整
 ・令和5年度の事業化に向けた庁内調整・地域調整等



推進委員会の様子

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
名古屋城重要文化財等展示収蔵施設の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	名古屋城本丸御殿障壁画をはじめとした名古屋城の重要文化財等を積極的に市民に公開するための展示・収蔵施設の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成25年度は、名古屋城重要文化財展示収蔵施設整備構想を策定した。 平成26年度に予定地の埋蔵文化財発掘調査、平成27年度に展示収蔵施設の基本設計、平成28年度に実施設計等を行った。 平成29年度に展示収蔵施設の建設工事に着手し、平成30年度に竣工した。 令和元年度は、外構工事で遺構をぎ損し、これに伴う調査が必要となったことから、工事を一時中止した。 令和2年度は、外構工事を再開し、展示収蔵に必要な舗装等を行った。 令和3年度は、「西の丸御蔵城宝館」を開館し、展示を開始した。外構については再検討を目的とした発掘調査を実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		西之丸北部での近世の御蔵構全体を認識できる空間整備を目指して再調査を実施しており、遺構の残存状況を把握した上で外構等の整備を進める。	
状況を示す写真や資料等			
 城内配置図		 ※展示収蔵施設は、江戸期の米蔵の位置や姿にない建物、外構の整備をすすめている 御米蔵構図(原図は「金城温古録」所収)	
 西の丸御蔵城宝館南側(南東から撮影)		 発掘調査状況(北東から撮影)	

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
名古屋城二之丸庭園の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	名勝名古屋城二之丸庭園保存管理計画に基づき、庭園の本格的な保存整備に取り組む。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成25・26年度に石組の崩壊を招いている又は招く樹木の伐採、平成26年度に権現山並びに笹巻山の修理を行った。 平成27年度は権現山山頂の社跡の遺構再現表示と石段の復元整備及び権現山西側の築山修復を行った。 平成28年度は栄螺山の盛土修復及び権現山西側の築山の修復を行った。 平成29年度は北園池の岩組、護岸、中島、築山周辺の修復を行った。また、国指定名勝庭園区域が拡大された。 平成30年度は余芳移築再建予定地周辺の一次造成及び北園池の石組の修理を行った。 令和元年度は北園池の石組の傾倒及び亀裂の修理等を行った。 令和2年度は北園池に至る園路の飛石、石段の修理等を行った。 令和3年度は北園池の石組修復等を行った。 平成25年度以降、二之丸庭園の文化的価値と魅力の周知を目的とした発掘調査現地説明会実施等を継続し、歴史的風致の維持向上に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	名勝名古屋城二之丸庭園の往時の景観を取り戻すため、庭園の修復・保存整備を進める。		
状況を示す写真や資料等			

状況を示す写真や資料等



石組修復(着手前)



石組修復(完了)



技術職員研修の実施

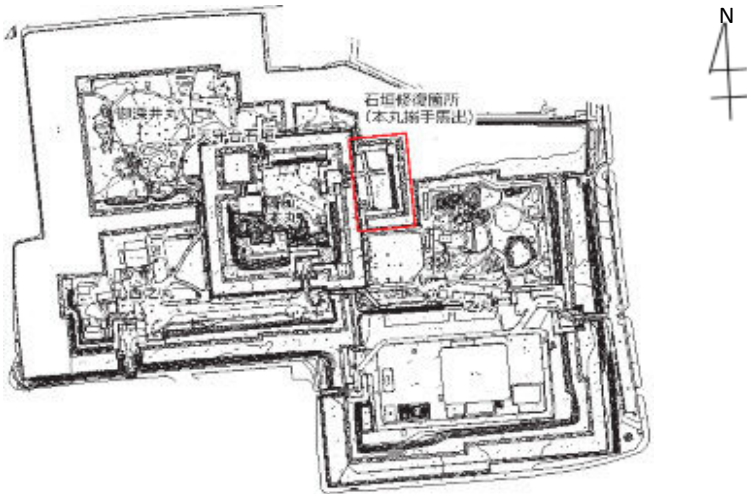
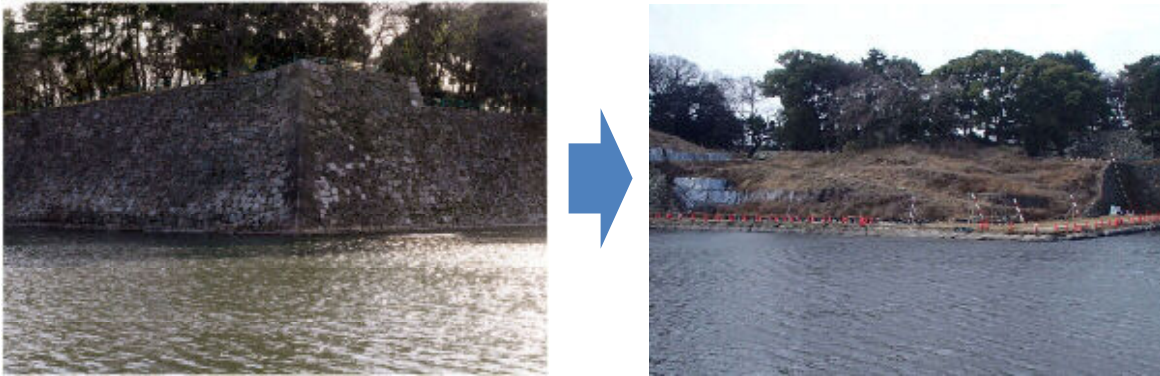
※令和3年10月18日他 参加者49名



二之丸庭園平面図(部分)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
名古屋城石垣の整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和50年度～		
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載している内容	特別史跡名古屋城跡の重要な要素である名古屋城石垣について、修復工事等を実施し、歴史的景観を保全する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
大きな孕みがみられた本丸搦手馬出(からめてうまだし)周辺石垣について平成14年度から継続して修復工事を行っている。平成25年度までは、石垣の取り外しを実施した。平成26,27年度は、根石の調査を実施した。 平成28,29年度は、石垣前面の地盤補強工事として砕工を実施した。 平成25～28年度に、修復現場見学会を開催した。 平成30年度は、平成26年度から行った調査や地盤補強のために中断していた石垣の取り外しを再開し最下段までの取外しを実施した。 令和元年度は石材補修工、仮設通路工、石材調査等を実施し、石垣の積み直しに向けた準備が進んだ。 令和2年度に、逆石調査、石材劣化調査、石材補修工等を実施し、積み直し基本方針を、令和3年度は積み直し基本計画を策定した。 今後、石垣を適切に積み直すことで、名古屋城の歴史的魅力的向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与していくことができる。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		特別史跡名古屋城跡の本質的価値を構成する石垣を対象とする整備事業であり、慎重な調査・検討を要するため、事業の遅れはあるものの、早期の積み直し着手に向けて、関係機関と調整しながら実施設計を進める。	
状況を示す写真や資料等			
 石垣整備箇所(本丸搦手馬出)			
 修復工事前の石垣(平成14年度) 修復工事中の石垣(令和3年度末)			

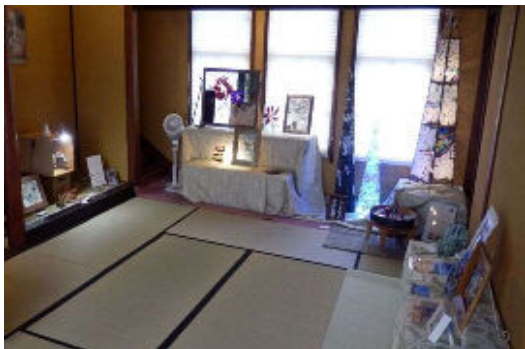
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成元年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」を市の公文書館である「名古屋市政資料館」として活用し、市政・司法・建物に関する資料の展示等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
公文書の収集、資料の常設展示のほか、企画展を開催した。 文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。 ●令和3年度 入館者数 63,790人 企画事業数 10件 ●令和2年度 入館者数 45,878人 企画事業数 10件 ●令和元年度 入館者数 96,841人 企画事業数 16件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	令和2年度に引き続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染感染拡大の中で、入館時の感染防止対策を実施しながら企画展やイベントを実施した。今後も新型コロナウイルスの感染状況を勘案しつつ、継続的に企画展やイベントを実施していく予定であるが、コロナ禍で減少した入館者数の回復を目指し、引き続き、費用対効果が高いPR手法を模索し、より効率的かつ効果的な広報媒体の調査及び活用を行う。		
状況を示す写真や資料等			
●主なイベント及び企画展 「こどもの日企画 なぞとき展おりがみの暗号」 令和3年 4月28日～ 6月 6日 期間入館者5,525名 「夏の子ども企画 名古屋市のうつりかわり」 7月21日～ 8月31日 期間入館者5,997名 「ファッションショーができるまで」 10月23日～11月 7日 期間入館者3,836名 「今に生きる市制100周年のまちづくり」 11月16日～11月28日 期間入館者3,006名 「冬の子ども企画 名古屋市のうつりかわり」 令和4年 1月 5日～ 2月25日 期間入館者8,117名			
 こどもの日企画 なぞとき展おりがみの暗号 令和3年4月28日～6月6日 期間入館者5,525名  夏の子ども企画 名古屋市のうつりかわり 7月21日～8月31日 期間入館者5,997名  今に生きる市制100周年のまちづくり 11月16日～11月28日 期間入館者3,006名			

評価軸③-05

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況																																	
文化のみち二葉館(名古屋市旧川上貞奴邸)の管理運営			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																																	
事業期間	平成16年度～																																			
支援事業名	市単独事業																																			
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち二葉館の保存・活用を進める。																																			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																																				
川上貞奴が居住した建物を創建当時の姿に移築復元し、文化のみちの拠点施設として平成17年2月8日より一般公開している。文化のみちの情報発信、川上貞奴に関する資料・郷土ゆかりの文学資料の展示、そして企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。																																				
<table border="0"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="3">(無料開放日)</th> <th></th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2月8日</th> <th>7月17日</th> <th></th> <th>名古屋まつり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●令和3年度</td> <td>入館者数16,571人</td> <td>貸室稼働率39%</td> <td>利用者満足度100%</td> <td>350人</td> <td>146人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>●令和2年度</td> <td>入館者数14,322人</td> <td>貸室稼働率22%</td> <td>利用者満足度99%</td> <td>315人</td> <td>91人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>●令和元年度</td> <td>入館者数28,252人</td> <td>貸室稼働率39%</td> <td>利用者満足度99%</td> <td>1,544人</td> <td>86人</td> <td>1,146人</td> </tr> </tbody> </table> ※令和2・3年度は名古屋まつり中止。						(無料開放日)						2月8日	7月17日		名古屋まつり	●令和3年度	入館者数16,571人	貸室稼働率39%	利用者満足度100%	350人	146人	—	●令和2年度	入館者数14,322人	貸室稼働率22%	利用者満足度99%	315人	91人	—	●令和元年度	入館者数28,252人	貸室稼働率39%	利用者満足度99%	1,544人	86人	1,146人
		(無料開放日)																																		
		2月8日	7月17日		名古屋まつり																															
●令和3年度	入館者数16,571人	貸室稼働率39%	利用者満足度100%	350人	146人	—																														
●令和2年度	入館者数14,322人	貸室稼働率22%	利用者満足度99%	315人	91人	—																														
●令和元年度	入館者数28,252人	貸室稼働率39%	利用者満足度99%	1,544人	86人	1,146人																														
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																																			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数が大幅に減少し、企画事業も多くが中止となった。現在入館の際は入口での消毒、非接触式検温、人数制限などを行っているが、今後もそれらの感染防止対策を行いながら、感染状況を勘案した上で企画事業を実施していく。また、文化のみちの拠点施設として、周辺施設とのさらなる連携が課題であるため、イベントや広報を他施設と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。																																			
状況を示す写真や資料等																																				
●令和3年度 企画事業数 35件 ●令和2年度 企画事業数 39件 ●令和元年度 企画事業数 74件																																				
 パネル紹介 文化のみち全体の紹介パネルにて、エリア内の歴史的建造物などについて紹介		 企画展「姫きもの展」 令和3年9月15日～20日 期間中入館者 355名																																		
 企画展「書家 矢野きよ実 - 書道展」 令和3年10月13日～17日 期間中入館者 773名		 企画展「スタンド硝子アート&スタンドグラス作品展」 令和3年12月11日～19日 期間中入館者 945名																																		

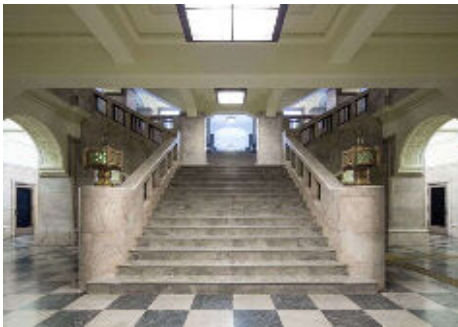
評価軸③-06

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況																
文化のみち榎木館の管理運営			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																
事業期間	平成21年度～																		
支援事業名	市単独事業																		
計画に記載している内容	歴史的建造物である文化のみち榎木館の保存・活用を進める。																		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																			
歴史的建造物である文化のみち榎木館を平成21年7月17日から一般公開している。 文化のみちの歴史などに関する展示や、企画事業の実施などにより市民文化の振興に寄与している。 年3回、施設の無料開放日を設け、施設の利用向上を図っている。 文化のみちにある施設と連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に寄与している。																			
(無料開放日) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2月8日</th> <th>7月17日</th> <th>名古屋まつり</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●令和3年度 入館者数</td> <td>8,779人</td> <td>貸室稼働率49%</td> <td>利用者満足度97%</td> </tr> <tr> <td>●令和2年度 入館者数</td> <td>5,197人</td> <td>貸室稼働率26%</td> <td>利用者満足度—</td> </tr> <tr> <td>●令和元年度 入館者数</td> <td>14,270人</td> <td>貸室稼働率49%</td> <td>利用者満足度97%</td> </tr> </tbody> </table> ※令和3年度は名古屋まつり中止。令和3年12月13日～令和4年1月31日、工事休館 ※令和2年度は名古屋まつり中止。令和2年12月21日～令和3年3月15日、工事休館。					2月8日	7月17日	名古屋まつり	●令和3年度 入館者数	8,779人	貸室稼働率49%	利用者満足度97%	●令和2年度 入館者数	5,197人	貸室稼働率26%	利用者満足度—	●令和元年度 入館者数	14,270人	貸室稼働率49%	利用者満足度97%
	2月8日	7月17日	名古屋まつり																
●令和3年度 入館者数	8,779人	貸室稼働率49%	利用者満足度97%																
●令和2年度 入館者数	5,197人	貸室稼働率26%	利用者満足度—																
●令和元年度 入館者数	14,270人	貸室稼働率49%	利用者満足度97%																
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の影響により入館者数が大幅に減少し、企画事業も多くが中止となった。現在入館の際は入口での消毒、非接触式検温、人数制限などを行っているが、今後もそれらの感染防止対策を行いながら、感染状況を勘案した上で企画事業を実施していく。また、文化活動の促進により市民文化の振興に寄与する施設として、周辺施設及び地域団体等とのさらなる連携が課題であるため、イベントや広報を他施設及び地域団体等と連携して実施するなど、さらに連携を進めていく必要がある。																		
状況を示す写真や資料等																			
●令和3年度 企画事業数 22件 ●令和2年度 企画事業数 10件 ●令和元年度 企画事業数 27件																			
																			
常設展示 2F		企画事業「なごや折り紙建築展」 令和3年4月23日～5月9日 期間中入館者 533名																	
																			
企画事業「ハルカルテットコンサート」 令和3年7月11日 当日入館者 67名		企画事業「榎木館フォーラム」 令和3年10月28日 当日入館者 39名																	

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況														
名古屋市役所本庁舎及び愛知県本庁舎の歴史的価値の維持向上			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手														
事業期間	平成26年度～令和5年度																
支援事業名	市単独事業(名古屋市庁舎分)、県単独事業(愛知県庁舎分)																
計画に記載している内容	名古屋市役所本庁舎と愛知県庁舎(ともに重要文化財)の並立する景観と両者の歴史的価値の維持向上を図るとともに、庁舎の公開等を行っていく。																
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で																	
名古屋市役所本庁舎(平成26年12月10日重要文化財指定)の歴史や魅力を広く市民に伝えていくため、学校の社会見学などの団体向け庁舎見学の受け入れを行った。また、閉庁日のガイドツアーを冬に実施し、計38名が参加した。※例年行っている庁舎開放イベント(11月3日)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。また、愛知県は、例年重要文化財である愛知県本庁舎の歴史的建造物としての魅力をより多くの県民に周知する事を目的とした見所紹介パネル展を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により中止した。																	
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)															
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染防止対策を行ったうえで、継続実施。ガイドツアーの実施については、実績に応じて、開催日及び募集人数を検討。															
状況を示す写真や資料等																	
名古屋市庁舎 ●庁舎開放イベント実施結果 開催日 : 中止 (参考)過去3年間の入場者数 <table border="1"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>3,100人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>3,200人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>中止</td> </tr> </table> ●庁舎見学の受け入れ実績 <table border="1"> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4団体(64名)</td> </tr> </table> (参考)過去3年間の受け入れ実績 <table border="1"> <tr> <td>平成30年度</td> <td>34団体(606名)</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>13団体(263名)</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>11団体(70名)</td> </tr> </table> ●令和3年度ガイドツアー実施結果 開催日 : 令和4年1月29日(土) 開催時間: ①午前10時～ ②午後1時～ 参加者総数: 38名 ※応募総数110通 愛知県庁舎 ●見所紹介パネルの展示 展示期間 : 中止 ●令和3年度ガイドツアーの見学箇所 (貴賓室・議場・屋上・正面玄関・中央広間・中央廊下・議場前広間・市長室前・北側廊下) ・正面玄関  ・議場  ・貴賓室 				平成30年度	3,100人	令和元年度	3,200人	令和2年度	中止	令和3年度	4団体(64名)	平成30年度	34団体(606名)	令和元年度	13団体(263名)	令和2年度	11団体(70名)
平成30年度	3,100人																
令和元年度	3,200人																
令和2年度	中止																
令和3年度	4団体(64名)																
平成30年度	34団体(606名)																
令和元年度	13団体(263名)																
令和2年度	11団体(70名)																

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(名古屋テレビ塔)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成22年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	日本初の集約電波塔であり、本市の戦災復興を象徴する登録有形文化財でもある名古屋テレビ塔について、都心の重要な観光施設として活用していくための方策を検討していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
栄地区のシンボルである名古屋テレビ塔(登録有形文化財)の魅力を発信するため、夜景とプロジェクションマッピングをコラボレーションさせたイベントを季節ごとに内容を変えて実施していたが、耐震性及び内部の機能向上のため、平成31年1月から休館し改修工事を実施。令和2年9月にリニューアルオープンし、新たにホテルやレストラン、カフェなど9施設がテレビ塔内にオープンしたほか、塔体に共架している市所有の照明設備をフルカラーLED化したことで、夜の重要な観光資源であるテレビ塔のさらなる魅力創出を図ることができた。令和3年5月には中部電力株式会社と地域共生パートナーとしてネーミングライツを付与し、「愛知Greenでんき」を導入するなど、地域や環境に配慮した活動を広く市内外へ発信した。 【テレビ塔入場者数】 令和2年(9月～12月) 58,745名 令和3年(1月～12月) 87,818名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		展望台等を観光客の利用に供するとともに、おもてなしサービスの強化により、集客の向上を図る。	
状況を示す写真や資料等			
・平成31年1月 名古屋テレビ塔の改修工事・着工 久屋大通公園(北エリア・テレビ塔エリア) 整備工事・着工 ・令和 2年9月 名古屋テレビ塔・久屋大通公園 (北エリア・テレビ塔エリア)開業  【令和2年9月に開業した久屋大通公園北エリア写真】  【テレビ塔エリア写真(夜景)】			
【栄地区まちづくりプロジェクトとは】 リニア中央新幹線の開業に向け、名駅地区と栄地区が個性を生かした魅力向上を図るため、栄地区を魅力あるまちへと再生し、持続的に発展させることを目的とした基本方針「栄地区グランドビジョン—さかえ魅力向上方針—」に基づく取り組み ○栄地区グランドビジョンにおける方針 方針1 公共空間の再生「にぎわいと魅力にあふれた世界に誇れるシンボル空間の形成」 方針2 民間再開発の促進「機能更新が進み活気あふれる都市空間の形成」 方針3 界隈性の充実「個性を持った多様で魅力的な界隈の創出」			

評価軸③-09

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的町並み保存事業(白壁・主税・榑木地区)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和60年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	白壁・主税・榑木地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、この地区の特徴である門塀や緑と調和するサイン、案内板、解説板等の整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
伝統的建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、あわせて保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言を行うことで、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。令和3年度は補助申請がなく、助成は行わなかったが、指導・助言は3件行った。 また、既設の案内板を維持管理し、町並みの特徴や制度に関する周知を継続している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。また、設置済の案内板等について適切に維持管理し、劣化等が見られた場合は補修等の検討を行う。		
状況を示す写真や資料等			
◆白壁・主税・榑木町並み保存地区 江戸時代の武家屋敷の地割を残しており、門・塀と緑樹からなる屋敷景観と戦前の優れた近代建築が残る。			
①【補助件数】		②【指導・助言件数(届出件数)】	
	令和3年度	令和2年度	令和元年度
伝統的建造物の修理	0	1	2
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	0
必要物件の整備	0	0	0
計	0	1	2
	令和3年度	令和2年度	令和元年度
伝統的建造物の修理	0	1	3
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	0	1
必要物件の整備	0	0	0
その他の建築行為	3	4	4
計	3	5	8
①令和3年度 町並み保存補助事業			
令和3年度補助実績なし。白壁・榑木・主税町地区では料亭による補助申請が多いが令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により経営が見通せないことから修理等を保留していることが原因の一つと考えられる。			
②令和3年度 町並み保存地区内現状変更行為届出			
3件中2件が主たる道路に接しない敷地での個人住宅の新築であった。 残りの一軒は平面駐車場及びその屋根の設置であったが 門塀の設置及び高木の植栽がなされ、町並みに配慮されたものであった。 引き続き建築行為の相談があった際には町並み保存地区のあらましを手交し、 連続した門・塀と塀越しの木立の緑が豊かな町並の特性について説明し、協力を求めている。			

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的町並み保存事業(四間道地区)		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和61年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 四間道地区において、町並み保存地区及び伝統的建造物の指定を行うとともに、保存地区内の建造物の修理・修景等に対する技術的支援及び経済的支援(助成)を継続して行う。また、地区の歴史的環境に配慮した道路環境整備を実施するとともに、サイン、案内板、解説板等の整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統的建造物は修理基準に、伝統的建造物以外の建造物は修景基準にそれぞれ基づいた工事に伴う費用の一部を助成し、町並みを維持・保全して良好な景観を守っている。令和3年度は5件の助成を行い、歴史的景観の維持・継承を図ること

で、歴史的風致の維持向上に寄与している。

あわせて、保存地区において、建築行為等を行おうとするものに対し、届出を要請し、この際に専門的・技術的な指導・助言

を行った。指導・助言件数は4件。

また、既設の案内板を維持管理し、町並みの特徴や制度に関する周知を継続している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	保存地区内の町並みの維持・保全のため、今後も経済的・技術的支援を実施する。また、設置済の案内板等について適切に維持管理し、劣化等が見られた場合は補修等の検討を行う。

状況を示す写真や資料等

◆四間道町並み保存地区

慶長15年に始まった清州越しにともなつてつくられた商人町で、土蔵群と町家が堀川の水運を利用して隆盛を誇った清州越し商人の栄華を今に伝える。

【補助件数】

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	累計(昭和60年～)
伝統的建造物の修理	5	2	1	68
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	2	0	17
必要物件の整備	0	0	0	6
計	5	4	1	91

○令和3年度の町並み保存補助事業

※伝統的建造物の修理



修理前



修理後

既存の住宅について、店舗としての活用にあたり修理基準に沿って外壁、格子、屋根瓦等を修理した。

【指導・助言件数(届出件数)】

	令和3年度	令和2年度	令和元年度
伝統的建造物の修理	2	1	1
伝統的建造物以外の建造物の修景	0	2	0
必要物件の整備	0	0	0
その他の建築行為	2	2	0
計	4	5	1

※その他の建築行為は門塀の新築等で、修景基準に合致するよう指導・助言することで、周囲の町並みに調和させることができた。

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
徳川園の管理運営			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史文化拠点として、尾張藩二代藩主光友の隠居地を起源とする徳川園(庭園)を良好に管理運営し、近世武家文化を国内外に発信していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
各年度を通して、季節の風情を感じる催事や徳川家を中心とした歴史にまつわる催事を企画し、企画によっては隣接する蓬左文庫、徳川美術館と連携してバランスのとれた行事の実施に取り組んできた。 令和3年度は感染症拡大防止対策の影響を受け中止となったイベントもあったが、開催イベントの参加者からは好評を得た。 旅行関連、観光ホテルへの徳川園多言語パンフレット(主に英語、中国語、韓国語)の配架、SNSを中心としたネット広報をしており外国人のリアクション多数(公式サイト令和3年度アクセス約25万人、PV約81万)。 ●令和3年度 入園者数 188,073人(前年比127%) ●令和2年度 入園者数 147,740人 ●令和元年度 入園者数 330,850人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も新型コロナの感染状況を勘案しつつ、引き続き、改札口での消毒、非接触式検温、入場抑制などを行い、来園者に城下の歴史文化を楽しみながら感じてもらえる企画を実施していく。	
状況を示す写真や資料等			

武家装束展



徳川園ガーデンホールにて甲冑、武家装束、大名道具の展示。
 本物の甲冑の試着会実施。前年実施した甲冑の試着は新型コロナ感染防止のため実施せず。
 期間中(9/30～10/3)の入園者数は1,760人。

流し雛



流し雛は現在の雛飾りの原型とされ、源氏物語にもその記述が残っている。徳川美術館の雛飾りの時期と合わせ園内龍仙湖に再現した。150組の親子が参加。
 当日(2/27)の入園者数は840人。

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
蓬左文庫の保存と公開活用			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成16年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	尾張徳川家に伝来した貴重な書籍や絵図類が収蔵・展示されている蓬左文庫の保存と公開活用を積極的に進めている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
古典籍文庫としての閲覧公開活動を重視しつつ、徳川美術館と連携し尾張徳川家の大名文化を分かりやすく紹介する展示を開催した。また、蔵書の調査研究の成果をもとに講演会・講座を開催した。また、日頃の調査研究として、尾張名古屋の歴史資料の活字化や、広報紙「蓬左」で、蔵書等を市民にわかりやすく紹介した。 ●令和3年度入館者数 113,570人 ●令和2年度入館者数 69,851人 ●令和元年度入館者数 212,142人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和3年度も、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、入館時の検温・消毒、混雑時の人数制限、閲覧室の利用予約制を講じるなどして運営した。今後も、感染防止対策を講じながら、同じ敷地内にある徳川美術館・徳川園と連携し、展示や講演会・講座等を実施していく。	
状況を示す写真や資料等			
1 閲覧室 閲覧室利用者数 1,164人(令和2年度:981人 令和元年度:1,568人) 閲覧件数 999件 閲覧冊数 8,664冊 レファレンス 144件			
2 展覧会 (1) 特別展 夏季特別展「家康から義直へ」 令和3年 7月17日(土)～ 9月12日(日) 観覧者数 19,227人 秋季特別展「尾張姫君ものがたり」 令和3年 9月18日(土)～ 11月7日(日) 観覧者数 11,541人 (2) 企画展 ①「うるわしき花と鳥」 令和3年4月18日(日)～5月30日(日) 観覧者数 7,607人 ②「あかがね/くろがね」 令和3年6月5日(土)～7月1①日(日) 観覧者数 14,997人 ③「唐絵―尾張徳川家の中国絵画―」 令和3年11月13日(土)～12月12日(日) 観覧者数 23,033人 ④「浮世絵で旅気分」 令和4年1月4日(火)～1月30日(日) 観覧者数 5,778人 ⑤「年中行事の今と昔」 令和4年2月5日(土)～3月31日(木) 観覧者数 16,401人			
3 講演会・講座 ①講演会「青松葉事件」 令和3年10月28日(木) 参加者 60人 ②シンポジウム「江戸幕府の書物と蓬左文庫」 令和3年12月19日(日) 参加者 88人 ③講座「鸚鵡籠中記を読み解く」 令和4年 3月10日(木) 参加者60人			
4 調査研究 ①尾張名古屋の歴史資料を活字化するため、「青窓紀聞」の編集作業をした。 ②蓬左文庫の典籍を紹介した広報紙「蓬左」を作成配布した。			

広報紙「蓬左102号」

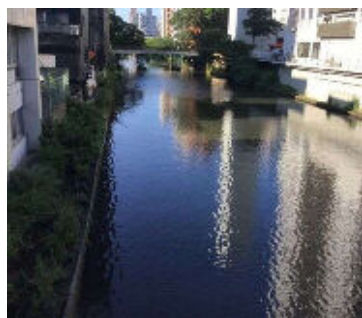
評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

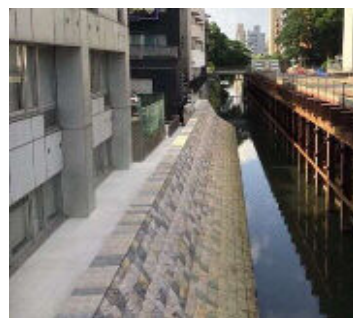
項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
堀川の総合整備			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和61年度～		
支援事業名	防災・安全交付金(流域治水対策河川事業)		
計画に記載している内容	堀川では堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備を進めているが、堀川とその周辺の歴史・文化資源、まちづくり、市民団体の活動など、堀川をとりまく様々な資産を活かし、周辺のまちづくりを考慮した河川整備に引き続き取り組んでいく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
堀川圏域河川整備計画に基づく治水整備として、護岸整備および河道掘削を実施することにより、沿川の歴史的資産やまちづくりの基盤となる堀川の周辺環境を洪水被害から守るとともに、周辺環境に配慮し、石積み風護岸を整備した。 令和3年度 護岸整備延長 約0.7km(見込み) 令和3年度 河道掘削量 約12千m3(見込み)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		河川整備工事には時間を要するが着実な事業進捗を図っていく。 また、水辺空間を利活用することでのぎわいづくりを進める。	

状況を示す写真や資料等

【整備例】 桜橋上流の護岸工事

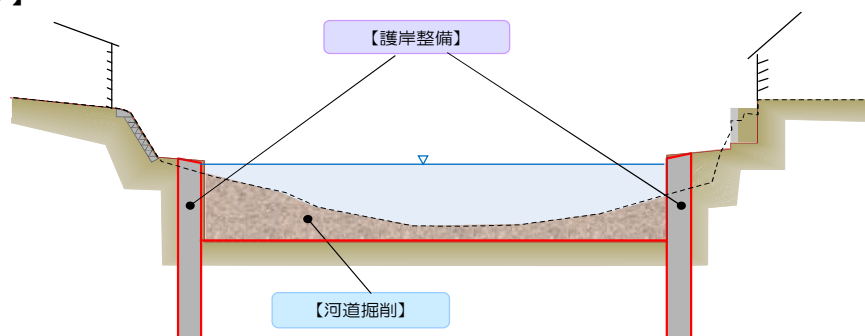


工 事 前



工 事 後

【整備イメージ】



【参 考】 納屋橋地区のライトアップ整備(令和3年3月26日～)



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
尾張名所図会看板の整備		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成24年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市民の歴史に関する関心を高めるとともに、地域の歴史的資源を巡る回遊性を高めるため、江戸時代の尾張地域の名勝、史跡などを絵と簡単な文章で紹介した「尾張名所図会」を、その描かれた場所付近に看板として設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

尾張名所図会の看板を描かれた場所付近に設置した。

【設置基数】 24年度…2基、25年度…0基、26年度…2基、27年度…2基、28年度…0基、29年度…1基、30年度…3基
元年度…0基、2年度…0基、3年度…0基 計:10基

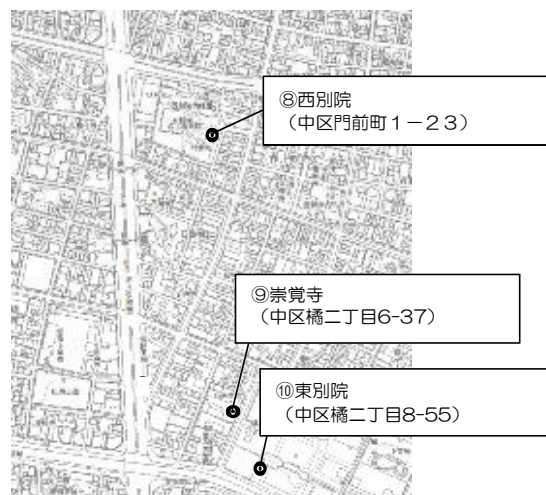
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	令和元年度以降予算措置がなく、新規設置ができていないため、今後の設置について検討する必要がある。設置済みの看板については適切な維持補修に努める。

状況を示す写真や資料等

○設置状況



熱田界限



城下町界限



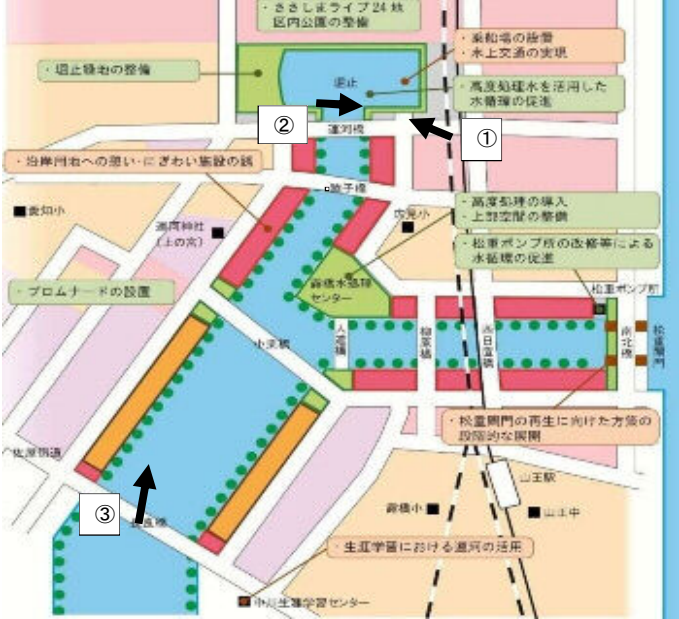
【正覚寺 H27設置】



年度	基数	尾張名所図会内容	設置場所
H24	2	断夫山 夜寒里古覧	熱田神宮公園 旗屋小学校
H26	2	白鳥山法持寺 法華堂本遠寺	法持寺 本遠寺
H27	2	妙光山誓願尼寺 龜足山正覚寺	誓願寺 正覚寺
H29	1	亀井山円福寺	円福寺
H30	3	西本願寺 掛所 長嶋山崇覚寺 東本願寺 掛所	西本願寺 崇覚寺 東本願寺
合計	10		

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
中川運河の再生			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～（堀止緑地の整備は令和4年度までを予定）		
支援事業名	港湾整備事業（中川運河護岸・堀止緑地）		
計画に記載している内容	名古屋の暮らしとモノづくりの発展を下支えてきた中川運河において、堀止緑地の整備や護岸改良、松重閘門の再生を目指す。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
① 堀止緑地の整備 緑地の整備によって緑豊かな空間の創出が図られた。 ・令和3年度 緑地整備（植栽1,203㎡、転落防止柵45m等） ② 護岸改良 老朽化した護岸の改良によって安全性の確保が図られた。 ・令和3年度 護岸改良（護岸工108m）			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	護岸改良には多額の費用が必要のため時間を要するが、着実な事業進捗を図っていく		
状況を示す写真や資料等			
①堀止緑地  ③護岸改良  ②堀止緑地  			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成26年度～		
支援事業名	国庫補助事業(社会資本整備総合交付金事業(都市公園事業)、官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業)及び市単独事業		
計画に記載している内容	大胆な戦災復興計画により形成された久屋大通公園において、都心のシンボル空間にふさわしい公共空間の整備や、沿道との一体化を図る空間形成等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
久屋大通の再生において、北エリア・テレビ塔エリアでは令和2年度に開業した「Hisaya-odori Park」の適切な管理運営、賑わいの創出に取り組んだ。また、南エリアでは、令和2年3月に久屋大通再生有識者懇談会より受領した「久屋大通のあり方(南エリア部分)」の提言をふまえ、事業化に向けた考え方のベースとなる再整備プランの検討を進めた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		南エリアについて、市民の意見を聴取しながら、再整備プランの検討を進め、策定する。	
状況を示す写真や資料等			
☒令和2年9月18日 「Hisaya-odori Park」の開業 ☒令和3年3月29日 第11回久屋大通再生有識者懇談会の開催			
 栄地区グランドビジョン 北エリア 「都会の安らぎ空間」 豊富な緑を活かした落ち着いたある憩いの空間を創出し、気軽に利用できる公園を目指します。 テレビ塔エリア 「観光・交流空間」 多目的に活用できる芝生広場や、テレビ塔のシンボル性を強化し、観光客や市民が広く交流できる公園を目指します。 南エリア 「にぎわいの空間」 大規模イベント空間の充実を図り、来訪者が集い楽しむことのできる公園を目指します。 令和2年9月18日 「Hisaya-odori park」開業 事業期間 20年間(～令和20年2月末) 事業対象区域 久屋大通公園のうち 外堀通から錦通まで(約5.45ha) 主な事業内容 飲食・物販等の公募対象公園 施設の整備・管理運営 園路・広場等の特定公園施設の整備・管理運営 令和2年3月26日 「久屋大通のあり方(南エリア部分)」の提言 ↓ 「久屋大通(南エリア)再整備プラン」の検討			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
史跡名勝標札、史跡散策路案内板等設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和39年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡名勝標札、史跡散策路案内板などの設置事業を行うとともに、こうした歴史関係の案内板を活用し、より身近な歴史に親しむ環境を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡や名勝などの所在地にその由緒などを案内する標札として「史跡名勝標札」を市内に310基(工事などで一時撤去中の標札を含む)設置している。令和3年度は、標札の新設や説明文の修正や経年劣化による文字の剥がれ等を塗り替えや補修を行った。
また、各史跡等を連絡させた散策路コースを設定し、市内80コース(1区あたり3～6コース)の各起点にイラストでコース全体や史跡を紹介した「史跡散策路」案内板を、コース途中には誘導標識を設置し、文化財保護意識の普及啓発やウォーキングイベント等での活用を図ったほか、案内板については補修等を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

史跡名勝標札の新設のほか、設置後10年以上経過し、文字や塗装等の劣化が見られる史跡名勝標札や案内板の補修も、計画的に進めている。

状況を示す写真や資料等

【案内板新設等件数】

種別	令和3年度	令和2年度	令和元年度
新設	1	3	3
再設置	5	1	2
補修・訂正	23	11	15
作り直し	0	1	8
完全撤去	0	1	0
設置累計	310	309	307

史跡名勝標札の新設(守山区向台定納公園 米田城跡)

【設置前】



【新設後】

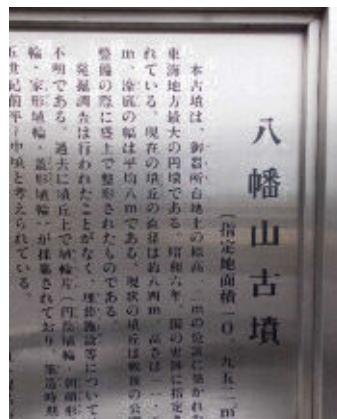


「史跡名勝標札」の補修(昭和区 八幡山古墳)

【施工前】



【施工後】



文字が剥がれていたり薄くなったりしていたので張り替えた。

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史的建造物の登録・認定		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 名古屋市都市景観条例に基づき、市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定するとともに、その保存活用に向けた技術的支援、経済的支援に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内に残る身近な歴史的建造物を地域建造物資産として登録・認定し、登録資産は計211件、認定資産は計88件(ともに累計)となった。
登録・認定件数は順調に増えており、身近な歴史的建造物を大切にするという意識も生まれ、登録・認定することにより歴史的建造物の滅失に歯止めをかける効果を実感することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

名古屋市総合計画2018の目標である「平成30年度に登録・認定累計250件」は達成したが、今後も、市民、なごや歴まちびと、関係機関等と連携し、身近な歴史的建造物の情報収集体制を強化していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

■登録及び認定件数

年度	登録	認定	合計
H23	50	35	85
H24	43	16	59
H25	37	6	43
H26	8	4	12
H27	9	0	9
H28	14	0	14
H29	14	7	21
H30	20	1	21
R1	6	10	16
R2	8	4	12
R3	2	5	7
合計	211	88	299
(うち登録→認定)	(44)		(44)
(うち抹消)	(23)	(3)	(26)

■技術的支援の実績件数

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	9
H29	12
H30	4
R1	2
R2	9
R3	1
合計	69

■経済的支援の実績件数

年度	件数
H23	2
H24	1
H25	4
H26	3
H27	1
H28	2
H29	0
H30	1
R1	3
R2	2
R3	3
合計	22

令和3年度の経済的支援は、個人住宅・店舗の外観保存工事3件に対して助成を行った。

■登録・認定地域建造物資産(令和3年度登録・認定物件(一部))



登録 第210号 磯貝家住宅
(中村区上米野町)



認定 第84号 大須演芸場
(中区大須)



認定 第87号 蔵
(緑区鳴海町)

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
なごや歴まちびとの派遣		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域建造物資産に登録・認定された歴史的建造物の所有者からの申請に基づき、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)が保存・活用に関する技術的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

登録地域建造物資産等の歴史的建造物の所有者に対して、名古屋歴史的建造物保存活用推進員(なごや歴まちびと)の派遣を行い、所有者の相談に応えることで歴史的建造物の保存に繋がっており、歴史的風致の維持向上に寄与している。

【なごや歴まちびと登録人数】令和3年度末現在:75人 【派遣件数】令和3年度:1件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的建造物所有者からの様々な相談への対応を一層強化するため、なごや歴まちびとの知識・技術を向上するべくフォローアップ講座の内容を検討している。

状況を示す写真や資料等

■派遣制度の仕組み

なごや歴まちびと派遣制度



■過去の主な相談内容

- ・屋根、土蔵、母屋、門、塀の補修方法について
- ・活用に向けた修理計画について
- ・耐震診断について
- ・活用検討のための調査、間取り図作成について

など

■派遣実績

年度	件数
H23	6
H24	9
H25	6
H26	5
H27	6
H28	7
H29	12
H30	4
R1	2
R2	9
R3	1
合計	67

■建物調査・相談の様子(技術的支援)

令和3年10月26日
個人住宅 渡邊家
建具の不具合について相談



登録地域建造物資産 第56号

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化のみちの推進			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成11年度～		
支援事業名	市単独事業※シールラリーは地域文化財総合活用推進事業		
計画に記載している内容	名古屋城から徳川園に至る「文化のみち」エリアにおいて、拠点施設の管理運営、歴史的建造物の保存・活用を行うとともに、「歩こう！文化のみち」などの各種イベントを開催する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化のみち施設(文化のみち二葉館・文化のみち榎木館・旧豊田佐助邸・旧春田鉄次郎邸)の活用・管理を行うとともに、「文化のみち鑑巡りシールラリー」などの歴史的建造物を活用したイベントを開催した。※例年行っている「歩こう！文化のみち」イベントは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 文化のみちにある施設が連携し事業を実施することで、回遊性が高まり各施設の認知度の向上や入館者増加に繋がり歴史的風致の維持向上に寄与している。			
【連携事業参加者数】	令和3年度	令和2年度	平成元年度
「歩こう！文化のみち」イベント	—	—	22,091人
「鑑巡りスタンプ(シール)ラリー」	2,013人	2,356人	4,942人
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染防止対策として、スタンプラリーをシールラリーに変更して実施した。今後も感染状況を勘案しながら開催可能なイベントを検討し、文化のみち施設による個々の企画や発信だけでなく、連携した取組みを推進していく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



文化のみち二葉館



文化のみち榎木館



旧豊田佐助邸



旧春田鉄次郎邸



文化のみちエリア

【実施イベント】

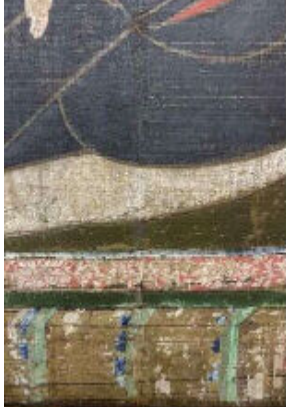
連携事業

「文化のみち鑑巡りシールラリー」

令和4年2月5日～3月6日

参加者: 延べ人2,013人



項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
指定文化財(建造物・史跡等)の保存修理事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※国・愛知県指定文化財は、文化財保存事業費関係国庫補助・愛知県文化財保存事業費		
計画に記載している内容	指定文化財であるお寺、神社、個人住宅などの歴史的建造物や史跡・名勝といった地域の歴史遺産の保存修理や管理に要する経費について、補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
名古屋市指定文化財等の保存管理・保存継承のために補助金を交付することで、地域の貴重な文化財の保存が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。 (令和3年度市指定文化財等の保存修理事業として3件補助を実施) (令和元年度実績:7件 令和2年度実績:5件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		市の補助金だけでは十分な対応が難しいことから、国の補助事業も有効に活用していく。	
状況を示す写真や資料等			
○令和3年度補助金交付一覧			
名称	種別	行為	
深沢第3号墳	史跡	危険木伐採、除草、樹木剪定、薬剤散布	
宝珠院のイヌナシ	天然記念物	枯枝の除去、生育に悪影響を及ぼす枝の除去、害虫駆除、剪定	
絹本着色松平忠吉像	絵画	乾式・湿式クリーニング、剥落止め、補彩、扉の調整など	
○絹本着色松平忠吉像 附 厨子1基(千種区)保存修理			
＜前＞		＜後＞	
			
亀裂が縦に入り、欠損している箇所を補彩した。			
			
全体的に擦れ、汚れが付着している部分を緩和させ、彩色が剥落している箇所を補彩した。			

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
まちづくり協議会等による地域まちづくりへの支援			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成24年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域で活動する多様な主体(住民、自治会、NPO、商店街、企業、行政等)が集まり、まちの将来像を話し合うまちづくり協議会等を設置し、その実現に向けた方針をまとめたまちづくり構想を作成したり、地域の魅力向上や課題対応などの取り組みを主体的にすすめていく「地域まちづくり」を支援していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
以下の支援を行い、まちづくり構想づくりとその実践を推進している。 令和元年度サポート制度活用団体 6団体 令和2年度サポート制度活用団体 7団体 令和3年度サポート制度活用団体 4団体			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	地域まちづくりに取組むまちづくり団体が増加傾向にあり、今後も支援を実施していく。 【地域まちづくり活動団体登録: 平成29年度 19団体、平成30年度 24団体、令和元年度 27団体、令和2年度 28団体、令和3年度 30団体】(平成29年度から登録認定制度運用開始)		
状況を示す写真や資料等			
◆令和3年度サポート制度を活用し、行われた地域まちづくり活動の様子			
			
≪かんであらmonzen亭≫ まちづくり構想を作成するためワゴン等設置し、人の滞留の可能性を探る社会実験を実施 (写真は令和3年10月16日～令和3年11月14日に開催された社会実験の様子)		≪NPO法人KIZURI中田井≫ 団体及び地域拠点のPRのためにチラシ等を作成 (写真は地域拠点「古民家ボレボレ」)	
			
≪名駅東花車・船入地区まちづくりの会≫ 構想づくりに向けて、地域の方のまちづくりへの理解を深めるための勉強会やまち歩きを実施 (写真は令和3年12月10日の勉強会の様子)		≪熱田湊まちづくり協議会≫ 構想づくりに向けた勉強会やアンケートを実施し、ビジョン案を作成 (写真は令和3年11月7日の勉強会の様子)	

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度																
項目	現在の状況																	
名古屋城本丸御殿障壁画復元模写	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手																	
事業期間	平成4年度～																	
支援事業名	市単独事業																	
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画等を参考に、400年前の鮮やかな色を蘇らせるべく、描かれた当時の状態を再現する「復元模写」を制作し、本丸御殿復元時に御殿内に取り付けて展示する。																	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で 平成26年度は、上洛殿西入側の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など38面を制作した。 平成27年度は、上洛殿三之間の壁貼付絵や襖絵、上段之間の天井板絵など43面を制作した。 平成28年度は、鷺之廊下の壁貼付絵、上洛殿上段之間の天井板絵など44面を制作した。 平成29年度は、上洛殿松之間の襖絵や上洛殿三之間の天井板絵など48面を制作した。 平成30年度は、上洛殿松之間の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など35面を制作した。 令和元年度は、上御膳所御上段の壁貼付絵や上洛殿一之間の天井板絵など52面を制作した。 令和2年度は、湯殿書院上段之間の襖絵や上洛殿一之間の天井板絵など42面を制作した。 令和3年度は、湯殿書院上段之間の壁貼付絵や湯殿書院上段之間の天井板絵など47面を制作した。 制作した障壁画を本丸御殿に展示し、名古屋城の歴史的魅力的の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。																		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)																	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	史実に忠実な障壁画復元模写の制作のため、重要文化財障壁画の熟覧等を行いながら事業を進める。																	
状況を示す写真や資料等																		
【令和3年度 制作画面(一部)】 湯殿書院上段之間西側 壁貼付絵   湯殿書院上段之間天井板絵  作業風景																		
(単位:面) <table border="1"> <thead> <tr> <th>制作実績</th> <th>襖絵等</th> <th>天井</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H4～R2</td> <td>456</td> <td>339</td> <td>795</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>13</td> <td>34</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>469</td> <td>373</td> <td>842</td> </tr> </tbody> </table>			制作実績	襖絵等	天井	合計	H4～R2	456	339	795	R3	13	34	47	合計	469	373	842
制作実績	襖絵等	天井	合計															
H4～R2	456	339	795															
R3	13	34	47															
合計	469	373	842															
令和3年度末 進捗率 63% (1,325面中842面完了)																		

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
名古屋城旧本丸御殿障壁画保存修理			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間 昭和61年度～			
支援事業名 文化資源活用事業費補助金			
計画に記載している内容	国の重要文化財に指定されている名古屋城旧本丸御殿障壁画について、絵の具の剥落、虫害、下地の傷みなど損傷を生じているものを順次修理し、保存・継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成26年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理を行った。 平成27年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、表書院等の襖絵16面の点検修理を行った。 平成28年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、上洛殿の襖絵8面、玄関等の杉戸絵8面の点検修理を行った。 平成29年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、玄関の障子腰貼付絵など18面の点検修理を行った。 平成30年度は、上洛殿の天井板絵25面の保存修理、上洛殿や表書院の襖絵など16面の点検修理を行った。 令和元年度は、上洛殿の天井板絵29面の保存修理、黒木書院や玄関の襖絵15面の点検修理を行った。 令和2年度は、上洛殿の天井板絵26面の保存修理、対面所の襖絵12面の点検修理を行った。 令和3年度は、上洛殿の天井板絵28面の保存修理、対面所の襖絵など14面の点検修理を行った。 重要文化財である名古屋城本丸御殿障壁画の保存修理を行うことで、貴重な文化財の保存・継承することにより、名古屋城の歴史的魅力的向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後の展示・貸し出しの予定を勘案し、計画的に修理を行う。		
状況を示す写真や資料等			
【令和3年度 修理画面(一部)】			
			
上洛殿一之間天井板絵(修理後)		上洛殿三之間天井板絵(修理後)	
			
対面所上段之間障子腰貼付絵 風俗図(点検・修理後)		御湯殿書院一之間襖絵 扇面流図(点検・修理後)	

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
郷土ゆかりの文学資料室			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成17年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	郷土ゆかりの文学資料が時代とともに散逸することを防ぐため、文化のみち二葉館(旧川上貞奴邸)の一部を活用して、郷土ゆかりの文学資料の保管・展示を行うことにより、市民文化の振興に寄与する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○市民や文学関係者が保有する文学資料について、その保存状態や歴史的価値を調査した。 〈令和2年度〉城山三郎氏寄贈資料(484点)、短歌会館収蔵品・青木穠子氏寄贈品資料(1,995点) 〈令和3年度〉金子光晴氏寄贈資料(85点)、小谷剛氏寄贈資料(25点)春日井建氏寄贈資料(2点)岡井隆氏寄贈資料(1点) ○収蔵資料や折々のテーマに基づいた企画展及び関連催事の開催し、市民等の歴史的風致に対する認識の向上に寄与した。 〈令和2年度〉江戸川乱歩 没55年展、なごや女性歌人展、金子光晴展 ※感染症対策のため春季休館につき年3回実施となった 〈令和3年度〉岡井隆の歌業 没一年を偲んで、江戸川乱歩と小酒井不木展、名古屋ゆかりの芥川賞・直木賞作家展、城山三郎展			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文学資料の調査・保存について今後も継続実施するとともに、さらに多くの方々に施設に訪れていただき、興味を持っていただけるよう、今後もインターネットを活用するなどより効果的な周知方法を検討していく。		
状況を示す写真や資料等			
○文学資料(寄贈品)の調査・保存 〈令和2年度〉 ・城山三郎氏既存収蔵品および新規寄贈資料…直筆原稿・書簡、貴重本はじめ484点 ・短歌会館所蔵の既存収蔵品および新規寄贈品資料…青木氏日記・書籍、貴重本はじめ1,995点 〈令和3年度〉 ・金子光晴氏新規寄贈資料…直筆色紙、限定本、写真雑誌、初版書籍はじめ85点 ・小谷剛氏新規寄贈資料…著書、同人誌、関連書籍、日記・交流記録はじめ25点 ・春日井建氏新規寄贈資料…直筆色紙、著書2点 ・岡井隆氏新規寄贈資料…著書1点			
			
		寄贈・調査対象資料	
○文学関係企画展 〈令和2年度〉 ※感染症対策休館のため春季企画展中止 ・リバイバル展「江戸川乱歩 没55年」 8月1日～8月31日 期間中入場者 921名 ・「なごや女性歌人」展 10月10日～11月10日 期間中入場者 2,593名 ・「流浪の詩人・金子光晴」展 2月3日～3月7日 期間中入場者 2,281名 〈令和3年度〉 ・「岡井隆の歌業 没一年を偲んで」 6月10日～7月25日 期間中入場者1,529名 ・「江戸川乱歩と小酒井不木展」 8月4日～9月2日 期間中入場者 654名 ・「名古屋ゆかりの芥川賞・直木賞作家展」 10月8日～11月14日 期間中入場者 2,548名 ・「城山三郎展」2月5日～3月6日 期間中入場者 1,810名			
			
岡井隆の歌業 没一年を偲んで		城山三郎展	

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
水上交通ネットワークの検討		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 中川運河、堀川及び名古屋港を連絡し、熱田、名古屋城及びささしまライブ24などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現を目指す。熱田の宮の渡しと桑名の七里の渡しを結ぶ東海道唯一の海路である七里の渡しの復活に向けて、民産学官の観光舟運に関する情報共有と連携強化を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

中川運河水上交通定期運航・モニタリング調査を引き続き実施。アンケート調査(回答者数1,605、回収率22.5%)では、満足度について9割以上「よかった」「まあよかった」と回答

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

PR強化や企画商品の造成などにより利用者数の底上げを図りながら、引き続き運航を継続実施する

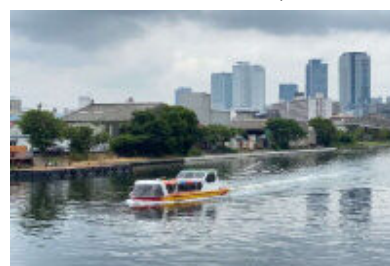
状況を示す写真や資料等

【運航ルート】



【R3年度運航状況】

令和3年度乗船者数：5,578人



長良橋より



中川口通船門

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

名古屋市-29

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成25年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	およそ400年前の清須越以来、名古屋の中心で脈々と伝えられてきた中区の魅力を市民グループと協働で発信し、中区の成り立ち・歴史・文化をいまに伝える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和3年10月31日(日)第26回堀川文化歩こう会「広小路周辺ものがたりの地を巡る」を開催。参加者38名 ・令和4年3月6日(日)第45回堀川文化講座「映画で振り返る開府400年の名古屋」を開催。参加者262名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		今後も継続して、市民グループと協議しながら魅力を発信していく。	
状況を示す写真や資料等			

第26回堀川文化歩こう会「広小路周辺ものがたりの地を巡る」



勝鬨寺(しょうまんじ)



福祿寿車山車庫(若宮八幡社)

第45回堀川文化講座「映画で振り返る開府400年の名古屋」



【文化講座の概要】

1612年名古屋城天守の完成からちょうど410年の節目となる今年の堀川文化講座では、開府400年祭のドキュメンタリー映画を上映するとともに、森零監督と「大山車まつり」世話役のトークショーで名古屋の歴史を振り返った。

アンケート結果(回答者224人)

- ・参加の回数について＝はじめて79.9%
- ・参加のきっかけ＝テーマに興味69.6%
- ・評価＝とてもよかった50.4%、よかった31.3%

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
熱田区役所における歴史資料展示			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成22年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している 内容	熱田区役所1階に「熱田区歴史資料展示コーナー」を設け、故福島重夫氏等から寄贈された歴史資料を展示する。 【資料展示の経緯】 区の特徴を出した事業として、当時熱田生涯学習センターに所蔵されていた福島氏の資料を区役所に展示するという計画が上がり、展示コーナーが設置された。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の影響から歴史資料室の活動が制限される中、年1回の展示替えを行った。歴史資料の分類整理について、展示替え作業と並行して保存、管理を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	課 題: 熱田区歴史資料展示コーナーの認知度を高めること 対応方針: 庁舎内の案内表示やホームページの充実
状況を示す写真や資料等	

第22回展示「絵葉書から見た熱田と名古屋」
令和2年9月3日～令和3年6月28日



展示の様子1

アンケート回収 67名
 【展示内容について】
 よかった…………… 55名
 ふつう…………… 10名
 よくなかった……… 1名



展示の様子2

第23回展示「熱田に伝わるお話」
令和3年6月30日～令和4年6月27日



展示の様子1



展示の様子2

※展示期間終了後、
アンケートを回収、集計予定。

評価軸③-30

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
名古屋まつり			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和30年度～		
支援事業名	市単独事業（名古屋市、愛知県、名古屋商工会議所を構成員とする名古屋まつり協進会で実施）		
計画に記載している内容	昭和30年に戦災復興を祝して始まり、山車揃や郷土英傑行列など名古屋の歴史にちなむ催しも多い名古屋まつりを継続して開催する。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。 例年と同じく10月第3週に、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した開催に向け、準備を進めていたが、愛知県が緊急事態宣言の発出すべき地域とされたことに伴い、事前に定めた開催判断基準に基づき、令和3年8月26日に中止を決定。			
<参考> 【例年の主な事業】 ・郷土英傑行列を始めとした行列 ・久屋大通公園を中心とした会場行事 【例年の人出】 令和 3年度 中止（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止） 令和 2年度 中止（新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止） 令和元年度 153万人（雨天のため、土曜日の行列を中止） 平成30年度 221万人 平成29年度 24.3万人（台風21号の接近のため土・日曜日の行列及び日曜日の会場行事を中止）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底した開催に向け準備を進めていたが、愛知県が緊急事態宣言の発出されるべき地域とされたことに伴い、中止とした。しかしながら、名古屋の伝統、文化、魅力に触れてもらうことを目的に名古屋まつりを実施するため、令和4年度以降の、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえでの開催に向け検討を行った。	

状況を示す写真や資料等



郷土英傑行列
(令和元年10月20日)



山車揃
(令和元年10月20日)



久屋大通公園会場
(令和元年10月20日)



久屋大通公園会場
(令和元年10月20日)

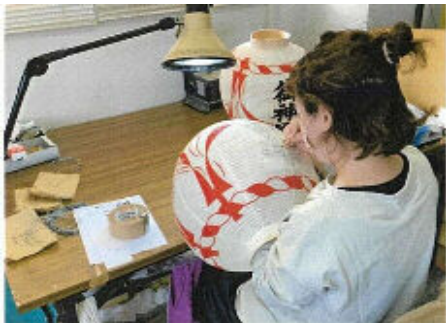
評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、 及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和47年度～		
支援事業名	市単独事業 ※文化遺産を活かした地域活性化事業・愛知県文化財保存事業費、文化財保存事業費国庫補助		
計画に記載している内容	指定文化財である山車祭り等、地域の民俗芸能・伝統行事の継承や山車などの保存修理等について補助する。また、市内遺跡から出土した遺物を展示し、公開活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・市内の無形文化財や民俗文化財の継承のために必要な用具の修理・新調および練習等に係る補助を行うことで、民俗芸能・伝統文化の継承や後継者の育成を行うことができた。 補助件数 令和3年度18件(山車の保存・修理等に対する補助14件(うち後継者育成事業に対する補助1件)、山車以外の民俗文化財等に対する補助4件) ・名古屋の歴史や文化の魅力を紹介する観光情報アプリ「なごや歴史探検」の運用を図った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	専門家による現地での現況確認・修繕方法の指導などを通じて、文化財の保存技術の向上を図っていく。		
状況を示す写真や資料等			
○緑区有松東町布袋車の幕修理 修理作業の現場にて、専門家と保存団体を交えて修理状況について確認している様子。 			
○市内遺跡の出土遺物展示 守山区の松が洞18号墳出土遺物を歴史の里しみゅーで展示した。 			
○アプリ「なごや歴史探検」 期間内登録者数(令和3年4月～令和4年3月) 新規登録者数 3651(内訳:日本語3567、英語52、中文簡体21、中文繁体4、韓国語7) 設定コースの達成者延べ963名			

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況			
伝統産業若手育成事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成5年度～					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	伝統産業に従事する人材の定着の促進を図るため、その若手技術者を育成する市内企業に対して補助金の交付を行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
「伝統産業若手技術者育成事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に所属する市内企業に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・令和元年度補助金交付件数:7件 ・令和2年度補助金交付件数:8件 ・令和3年度補助金交付件数:6件						
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)				
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も伝統産業を担う人材の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。				
状況を示す写真や資料等						
【名古屋の伝統産業】 ・有松・鳴海絞 ・名古屋節句飾 ・木桶 ・七宝 ・名古屋桐箆箭 ・名古屋扇子 ・名古屋提灯 ・名古屋仏壇 ・名古屋友禅 ・名古屋黒紋付染 ・和蠟燭 ・尾張仏具						
【補助金交付団体の活動例】  【尾張仏具】 江戸期より名古屋城下において、下級武士の内職として興る。木製漆塗り製品を中心とし、製造におけるそれぞれの作業が独立した職人たちによって行われる点が特徴。 仏具以外にも神具、祭礼具などの製造も行う。 (補助金交付団体名) 尾張仏具技術保存会						
 【名古屋提灯】 名古屋提灯は明治初期には貴重な輸出品としてもてはやされ、全国一の生産を誇った時期もあったといわれる。現在は、盆提灯・観光土産用提灯などが多く生産されている。 (補助金交付団体名) 名古屋提灯製造組合						

評価軸③-33

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
伝統産業新商品開発事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成5年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品の新たな需要開拓を図るため、市内伝統産業の業界団体が行う現代感覚にあった新商品開発事業に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業新商品開発事業費補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・令和元年度補助金交付件数:3件 ・令和2年度補助金交付件数:3件 ・令和3年度補助金交付件数:2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も現代ニーズに合った商品開発の支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			



【尾張仏具】

江戸期より名古屋城下において、下級武士の内職として興る。木製漆塗り製品を中心とし、仏具以外にも神具、祭礼具などの製造も行う。

- ◀ ・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会
- ・新商品名
「故人を偲ぶ祈りのアイテム」
光や音など副次的な機能を盛り込み、現代のライフスタイルに溶け込むデザインにすることで、手を合わせる文化を生活の中に取り入れられるような商品とした。



【名古屋仏壇】

江戸時代中期、元禄年間より製造が始まったとされる。名古屋仏壇は台の部分が高く、宮殿御坊造を代表とした豪華な構造が特徴。

- ◀ ・補助金交付団体名 名古屋仏壇商工協同組合
- ・新商品名
「マクリ仏壇二家族用」
総檜見付栓張り漆仕上げ。胴の戸扉の開閉方法が従来の横向きではない、新しい形のものとなっている。

評価軸③-34

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
伝統産業製品PR事業助成			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成14年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	伝統産業製品に対する需要を喚起するため、広く消費者に伝統産業製品のPRをするイベントの出展経費及びPRのための冊子・パンフレット等を作成する経費等に対して補助金の交付を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「伝統産業製品PR事業補助金交付要綱」に基づき、名古屋伝統産業協会会員団体に対し補助金を交付した。(同協会は昭和54年に市内伝統産業の産地組合により設立。構成:12業種11団体) ・令和元年度補助金交付件数:5件(展示会等出展:3件、PR冊子等作成:2件) ・令和2年度補助金交付件数:4件(展示会等出展:1件、PR冊子等作成:3件、体験教室等:0件) ・令和3年度補助金交付件数:0件(第38回伝統的工芸品月間国民会議全国大会の愛知県開催対応及び新型コロナ影響のため、申請なし)			
進捗状況	※計画年次との対応		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後も伝統産業製品のPR支援を通じ、産業の伝承・発展を促進していく。		
状況を示す写真や資料等			
 ・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会 ・事業内容 ホームページ制作(伝統工芸士22名の紹介ページ) ※令和2年度交付  ・補助金交付団体名 尾張仏具技術保存会 ・事業内容 認定ロゴカード・シールの制作 ※令和2年度交付			
 ・補助金交付団体名 名古屋友禅黒紋付協同組合連合会 ・事業内容 展示会「名古屋友禅名古屋黒紋付染展」 ※令和2年度交付  ・補助金交付団体名 名古屋提灯製造組合 ・事業内容 パンフレット作成 ※令和2年度交付			

評価軸③-35

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和3年度
項目		現在の状況
名古屋市民芸術祭		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成2年度～	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	総合的な市民文化芸術の祭典として、毎年、10月・11月の2ヶ月間にわたって、主催事業とコンテスト方式の参加公演事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
名古屋市民芸術祭2021参加公演事業では、音楽・演劇・舞踊・伝統芸能などの4部門で参加を募り、特に表彰に値する公演に市民芸術祭特別賞を授与した。 (伝統芸能部門 参加公演数: R2は6公演、R3,R1,H29,H28は4公演、H30は3公演 市民芸術祭賞: R1,H30,H29は1公演、R3,H28は該当なし 市民芸術祭特別賞: R3,R1,H30,H29,H28は1公演) ※令和2年度については、芸術祭賞、特別賞の選定を行っていない。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナ禍における開催となるため、感染拡大状況などを踏まえて、公演開催や鑑賞方式について慎重に検討していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等		
 登龍亭獅鉄 らくご芝居「新・中村仲蔵」 日程: 11月26日(金)、27日(土) 会場: G/PIT ●参加公演事業(伝統芸能部門) 令和3年度(参加公演数 4公演) ・市民芸術祭賞 該当なし ・市民芸術祭特別賞 「登龍亭獅鉄 らくご芝居『新・中村仲蔵』」(参加者94人) (チャレンジ賞) 令和2年度(参加公演数 6公演) ・日本舞踊瑞鳳流家元継承10周年記念 第4回瑞鳳澄依リサイタル～コロナ禍の中で～(参加者100人) ・出雲草 語り舞 11th Live～光と影～(参加者74人) ・淡交会別会 故橋岡慈観師七回忌追善(参加者278人) ・第64期第3回名古屋宝生会定式能(参加者261人) ・よし乃会 近松の世界 その I (参加者185人) ・平野倮山尺八演奏会(参加者40人) ※コンペティションは実施せず。 令和元年度(参加公演数 4公演) ・市民芸術祭賞 「第六回 桜美の会 一部」(参加者数580人) ・市民芸術祭特別賞 「杵屋喜鶴 喜鶴の調べ～垣根を越えて～」(参加者数473人) (チャレンジ賞)		

評価軸③-36

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
なごや子どものための巡回劇場			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	昭和55年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	次代を担う子どもたちを対象に、伝統芸能・人形劇・児童劇・交響楽・バレエなどを身近な生活圏において、低料金で楽しんでもらうため、文化小劇場や区役所講堂・ホールを会場に、各区を巡回して公演を行っている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度は伝統芸能分野の公演は実施していない。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和3年度は伝統芸能分野の公演は行わなかったが、令和4年度については実施予定である。子どもたちにとっては、数少ない伝統芸能に触れる機会であるため、より多くの方にご来場いただけるよう、実演団体等と引き続き協力していく。	
状況を示す写真や資料等			
令和3年度については伝統芸能分野の実施なし。			
《参考》令和2年度実施事業 新型コロナウイルス感染拡大防止の影響により、公演を中止し、代替策として無観客上演を収録し、Youtube事業団公式チャンネルSMILE×SMILE NAGOYA等にて公開した。 【令和2年度 伝統芸能公演】 公演団体・公演名: 狂言共同社「狂言がやってきた！」 収録日: 令和2年8月19日(水) 会場: 北文化小劇場 ウェブサイト公開期間: 令和2年9月29日(火)～令和3年1月11日(月・祝) 再生回数: 486回			
			
※令和2年度の収録時の様子			

評価軸③-37

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
名古屋市芸術文化団体活動助成		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 昭和48年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 伝統芸能の活動団体など、市内を活動の基盤とする芸術文化団体の日常活動の成果発表事業の経費の一部を助成することにより、市民の芸術文化活動の振興を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝統芸能分野(鑑賞団体への助成実績)

令和3年度 0件、令和2年度 0件、令和元年度 0件、平成30年度 1件、平成29年度 2件

音楽分野(邦楽)助成実績

令和3年度 0件、令和2年度 0件、令和元年度 0件、平成30年度 1件、平成29年度 2件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

伝統芸能の分野については、毎年申請が少ない状況にある。補助年限が連続3年までと決まっているため、長く活動している団体は既に交付年限が切れてしまっていることが多く、伝統芸能の分野で新興団体が少ないことが理由として考えられる。また、本助成は、令和4年度以降、名古屋版アーツカウンシルの新たな助成制度において課題を踏まえた対応していく予定である。(なお、そのため、令和2年度より新規募集は行っていない。)

状況を示す写真や資料等

○補助対象となる団体

音楽・演劇・舞踊・伝統芸能・美術・映画等の芸術文化の領域において、組織的、継続的に創造・鑑賞及び研究活動を行い、当該年度の4月1日現在で、創立3年以上を経過し、直近3年間で1回以上名古屋市内での自主文化活動実績がある団体

○補助対象となる事業

当該年度の4月1日から3月31日までに実施される(全事業が完了するもの)、広く市民を対象にした市内公開事業、政令指定都市等で実施する事業で、営利を目的としないもののうち、下記表の左欄に該当するもの

○補助対象とならない事業

①政治的または宗教的な事業 ②稽古ごと・習いごと等のおさらい会や発表会 ③チャリティー事業 ④名古屋市から助成金を得て実施される事業 ⑤文化芸術団体以外との共催事業 ⑥名古屋市内外の会場で行う事業など

補助対象となる事業	補助金の額
1 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台関係の創造団体が、構成員自らの出演による舞台公演を市内の会場で行う場合	会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とする。
2 絵画・書・彫塑・工芸・写真等の美術創造団体が、構成員自らの作品を市内の会場で発表する展覧会	会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、15万円を限度とする。
3 映画を自分たちで創る団体が自らの作品を市内の会場で発表する上映会	
4 音楽・演劇・舞踊・伝統芸能等の舞台芸術及び映画の鑑賞団体が、構成員自らの自主性に基づく企画で市内の会場を使用して行う鑑賞会	会場使用料の2分の1以内の額。ただし、15万円を限度とする。
5 芸術文化団体が政令指定都市または東京都特別区で実施する上記1～3の事業(他都市事業)で、その前後6月以内に、事業の事前周知又は成果の発表のために行う同種の市内事業を伴うもの(都市交流事業)	上記1は会場使用料の2分の1以内の額。2、3は会場使用料以内の額または事業総経費の2分の1のうち、いずれか低い額。ただし、他都市事業及び市内事業それぞれが15万円を限度とする。

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財調査、市町村による文化財指定、保存管理(活用)計画の策定・見直しなど			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	重点区域内に残る市指定文化財の山車などの保存及び活用を引き続き支援していく。また、志段味地区を重点的に施策を展開し、主要な古墳については、史跡指定を検討し、保存を担保するとともに、基本計画の策定を進めていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・名古屋市南部東海道周辺の祭礼行事について調査事業を継続実施した。 ・コロナ下での各町の対応を記録した。 ・国の有形文化財の登録に向けた調査を実施した。 ・史跡志段味古墳群の追加指定を受けるとともに、追加指定地の一部を公有化した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財調査、文化財指定を通じて、文化財を後世に引き継いでいく。		
状況を示す写真や資料等			
【東海道周辺の山車行事調査】 調査期間 平成30年度～令和3年度 ・鳴海・有松などの祭礼文化、山車行事について 詳細調査を実施			
			
有松西町音頭台調査 山車蔵に保管されていた部材から旧状を復元		鳴海表方相原町旧屋形彫刻調査	
【国の有形文化財の指定等に向けた調査】		【史跡志段味古墳群の追加指定】	
			
道徳公園クジラ池噴水(登録有形文化財)		史跡志段味古墳群の追加指定地 白鳥5号墳	

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財に関する事業(修理・修景、復元等)、文化財の周辺環境(道路・博物館等施設)に関する事業など			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・「歴史の里」整備事業(古墳等の整備) ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業) など		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「歴史の里」整備事業については、平成31年4月にガイダンス施設「体感！しだみ古墳群ミュージアム」がオープンした。来館者数の推移は、令和元年度154,591人、令和2年度83,338人、令和3年度112,844人となっている。今後も引き続き、全体ネットワーク化を図るための案内板、サイン等の整備、および古墳等の整備を実施していく。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	古墳整備箇所等について定期点検を実施しているが、劣化し、補修が必要な箇所が発生してきており、順次対応を進めている。		
状況を示す写真や資料等			
○「歴史の里」整備事業(古墳等の整備)  ガイダンス施設の外観 ○「歴史の里」古墳説明サインの補修  補修前  ガイダンス施設 キッズコーナー「こどもこふん」  補修後 ガイダンス施設【体感！しだみ古墳群ミュージアム】 ○延べ床面積 1,560㎡ ○主な居室 展示室・収蔵庫、体験活動室、キッズコーナー「こどもこふん」、カフェレストランなど			

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
項目			
・防災・防犯に関する事業(防火・防犯のための施設設備の設置・改修等) ・文化財防火デー等の防災訓練の取組			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載 している内容	指定文化財に設置された消防設備の確認や防火訓練、防犯設備や防犯体制についての確認、志段味地区の古墳の安全管理施設の整備等、文化財パトロール員の巡視等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財施設・所有者のうち、文化財防火デーに合わせて15施設を抽出し、市消防署及び自衛消防団と協力・連携して防災訓練及び消防施設・防犯設備の査察を実施している。 また、市文化財パトロール員を活用し、志段味地区の古墳を含めた市内に存する文化財を定期的に(年3回)巡視し、災害等の報告(令和3年度は標札破損1カ所)を受けた場合はすぐに対応して文化財の保護・管理に努めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		指定文化財建造物の件数が非常に多いため、順次ローテーションを図りながら巡視を継続し、防犯設備の充実を働きかける必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

文化財防災デー(令和4年1月24日)における防災訓練の実施

<名古屋市博物館>



【消火栓による初期消火と避難誘導訓練】



【放水訓練】



【はしご車による屋上避難者救助訓練】

【令和3年度 文化財防災デー消防訓練実施施設(計15施設)】

覚王山日泰寺(千種区)、徳川美術館(東区)、黄雲山光音寺(北区)、善光寺別院願王寺(西区)、願成寺・柳保育園(中村区)、名古屋城(中区)、八事山興正寺(昭和区)、名古屋市博物館(瑞穂区)、熱田神宮上知我麻神社(熱田区)、牛立八幡社(中川区)、知多山神社神楽保存庫(港区)、富部神社(南区)、八剱神社 大森会館(守山区)、高牟神社(名東区)、植田八幡宮(天白区)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の取組、民間団体への助成・支援(保存会への支援、用具の修理、担い手の育成等)、民間団体と連携・協力した取組、民間団体が実施した取組等		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容
 ・「歴史の里」整備事業(全体ネットワーク化事業)
 ・「歴史の里」整備事業(公開活用事業)
 ・山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業、及びわくわく文化財普及事業など文化財公開活用事業 など

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成31年4月に「歴史の里」整備事業のガイダンス施設「体感!しだみ古墳群ミュージアム」がオープンした。来館者数の推移は、令和元年度154,591人、令和2年度83,338人、令和3年度112,844人となっている。
 山車祭り等の伝統行事の継承事業や山車などの保存修理事業について補助件数は令和3年度18件となった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き、体感!しだみ古墳群ミュージアムをはじめとした志段味古墳群歴史の里へ多くの方に来訪していただけるよう、様々なイベントを実施していく必要がある。

状況を示す写真や資料等



お庭に埴輪プロジェクト



西大久手古墳の発掘調査体験

体感!しだみ古墳群ミュージアム イベント

行事名	期 間	参加人数
ミニ古墳に飾る、円筒埴輪の鉢づくり!	4月11日(日)	20
音楽アンサンブルの響き	4月17日(土)	25
しだみゅー歴史講演会	4月18日(日)	49
古墳deウォーキング	5月1日(土)	12
しだみゅー春イベント	5月3日(月・祝)	1634
美BODYエクササイズ	5月4日(火・祝)	19
春の寄せ植え講座	5月8日(土)	10
古墳で種まき! 育てよう暮らしの植物	5月9日(土)	32
しだみゅー歴史講演会	5月16日(土)	46
しだみゅー古墳散策	5月30日(日)	20
竹林を飾ろう!	6月13日(日)	16
しだみゅー歴史講演会	6月20日(日)	47
しだみゅー寄席	6月26日(土)	37
焼き物飾りづくり	7月11日(日)	30
金城学院コンサート	7月17日(土)	約70
しだみゅー歴史講演会	7月18日(日)	69
子ども研究員養成講座	8月3日(火)・10日(火)	15
草木染講座(子ども向け)	8月7日(土)・9日(月・祝)	90
書道アートパフォーマンス	8月8日(日)	77
しだみ村のトレードマーク&旗づくり	8月9日(月・祝)	22
石から絵具をつくる!	8月12日(木)・13日(金)・14日(土)	144
サントアートパフォーマンス	8月15日(日)	151
草木染講座(一般向け)	8月21日(土)	28
しだみゅー歴史講演会	8月22日(日)	63
天空のテノール 包金鐘コンサート	8月28日(土)	300
しだみゅー歴史講演会	9月19日(日)	47
ホウキづくりとお墓掃除	9月12日(日)	20
金城学院コンサート	10月9日(土)	約50
綿の収穫から挑戦する糸づくり	10月10日(日)	30
しだみゅー古墳散策	10月16日(土)	22
しだみゅー歴史講演会	10月17日(日)	71
秋のしだみゅーコンサート	10月23日(土)	約120
リアル謎解きゲーム	7月17日(土)~10月31日(日)	1706
塩を染めよう	11月3日(水・祝)	44
秋まつり	11月7日(日)	3335
古代の星空を体感しよう!	11月13日(土)	30
しだみ村で埴輪づくり	11月14日(日)	15
しだみゅー歴史講演会	11月21日(日)	96
天然素材で作るクリスマスリース作り	11月23日(火・祝)	28
お箸の歴史とマイ箸づくり	11月27日(土)	60
おこめを美味しく食べる	11月28日(日)	34
しだみゅー寄席	12月4日(土)	49
門松&Xmasリースづくり	12月12日(日)	20
しだみゅー歴史講演会	12月19日(日)	66
天然素材で作るお正月飾り	12月26日(日)	46
新春! 古墳書初め大会	1月9日(日)	36
金城学院コンサート	1月15日(土)	約60
しだみゅー歴史講演会	1月16日(日)	65
お庭に埴輪プロジェクト	1月23日(日)	11
新春お箸コンサート	1月30日(日)	約100
お庭に埴輪プロジェクト	2月6日(日)	16
体感しよう! 色彩の魅力	2月11日(金・祝)	27
しだみゅーミーティング	2月12日(土)	89
竹の食器とバレンタインプレゼントづくり	2月13日(日)	19
しだみゅー歴史講演会	2月20日(日)	66
糊とウメチギリ	2月23日(水・祝)	61
お庭に埴輪プロジェクト	3月6日(日)	21
しだみ村の春を彩ろう	3月13日(日)	20
しだみゅー歴史講演会	3月20日(日)	67
リモートセンシング技術と地球観測衛星	3月26日(土)・27日(日)	1271

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
埋蔵文化財の取り扱いに関する方針(具体的な計画)			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	・埋蔵文化財包蔵地についての周知及び開発との適切な調整(①・②) ・市内での開発行為における住宅都市局建築審査課との連携(①) ・名古屋城跡・志段味古墳群の発掘調査など(③～⑦)		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布。名古屋市公式ウェブサイトに埋蔵文化財の取り扱いに関する説明ページを掲載。 名古屋城跡本丸内堀石垣発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、西大久手古墳発掘調査 令和2年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布。名古屋市公式ウェブサイトに埋蔵文化財の取り扱いに関する説明ページを掲載。民間開発事業に伴う発掘調査の実施。 名古屋城跡本丸内堀発掘調査、御深井丸発掘調査、搦手馬出石垣発掘調査、名古屋城二之丸庭園発掘調査、西大久手古墳発掘調査、東谷山27号墳発掘調査 令和3年度:文化財保護法第93条に基づく届出提出の啓発チラシを、住宅都市局建築審査課等の関係機関に配布(①)。名古屋市公式ウェブサイトに埋蔵文化財の取り扱いに関する説明ページを掲載(①)。公共開発事業に伴う発掘調査の実施(②)。 名古屋城跡天守台穴蔵石垣発掘調査(③)、西之丸発掘調査(④)、名古屋城本丸搦手馬出周辺石垣解体修復事業に伴う発掘調査(⑤)、名勝名古屋城二之丸庭園発掘調査(⑥)、名古屋城二之丸地区試掘調査、西大久手古墳発掘調査(⑦)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		埋蔵文化財包蔵地における文化財保護法の手続きを、より周知していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
 ①埋蔵文化財届出啓発チラシ  ②公共事業に伴う発掘調査(新尾頭1丁目遺跡2021.9.12)  ④西之丸発掘調査(2022.3.16)  ③名古屋城跡天守台穴蔵石垣発掘調査(2021.12.6)  ⑤名古屋城本丸搦手馬出周辺石垣修復作業(2022.2.9)  ⑥二之丸庭園発掘調査(2021.10.21)  ⑦西大久手古墳発掘調査(2021.11.26)			

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		評価対象年度	令和3年度
年月日		掲載紙等	
有松照らせ絞りと瓦の光 あすから「灯りストリート」		令和3年8月6日	中日新聞
名古屋城の情報発信へ 西の丸御蔵城宝館11月開館		令和3年9月28日	中日新聞
江戸時代の家屋を生け花と光で演出 西区・伊藤家住宅		令和3年12月7日	中日新聞
ひな人形も写真鑑賞？ 東区で福よせ雛		令和4年2月17日	中日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

計画に位置付けられた事業のうち、特に新たな展開のあった事業や歴史まちづくりに関わるイベント等について、報道により市民の関心の向上につながったと考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
口計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	今後もメディア等を通じて市民の関心に訴えていくことが必要である。

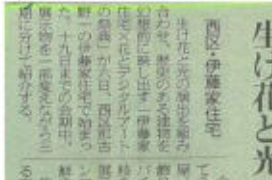
状況を示す写真や資料等



有松照らせ絞りと瓦の光
あすから「灯りストリート」

伝統産業発信へ異種コラボ

有松絞りと瓦の光をテーマにした「灯りストリート」が、あすからスタートする。有松絞りの伝統工芸と、瓦の光をテーマにした「灯りストリート」が、あすからスタートする。有松絞りの伝統工芸と、瓦の光をテーマにした「灯りストリート」が、あすからスタートする。



江戸時代の家屋を
生け花と光で演出

西区・伊藤家住宅

江戸時代の家屋を生け花と光で演出。西区・伊藤家住宅。江戸時代の家屋を生け花と光で演出。西区・伊藤家住宅。

令和3年8月6日 中日新聞

令和3年12月7日 中日新聞



名古屋城の情報発信へ
西の丸御蔵城宝館11月開館

名古屋城の歴史と文化を伝える「西の丸御蔵城宝館」が、11月1日に開館する。名古屋城の歴史と文化を伝える「西の丸御蔵城宝館」が、11月1日に開館する。



ひな人形も写真鑑賞？ 東区で福よせ雛

ひな人形も写真鑑賞？ 東区で福よせ雛。ひな人形も写真鑑賞？ 東区で福よせ雛。

令和3年9月28日 中日新聞

令和4年2月17日 中日新聞

評価軸⑥

その他(効果等)

評価対象年度

令和3年度

項目

観光客数の動向について

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本丸御殿の復元工事・公開をはじめ、文化財の整備が進む名古屋城において、入場者数が右肩上がりであったが、令和元年度に発生した新型コロナウイルスの影響で令和2年度は大幅に入場者数が減少し、前年度の約1/4となったが令和3年度に若干回復が見られた。

本市全体の観光入込客数については、平成25年度の本丸御殿第一期公開開始からゆるやかに増加していたが、令和2年は新型コロナウイルスの影響で行事・祭事が大幅に減少したことに伴い入込客数も前年の半数以下に激減した。(統計上令和2年までしか公表されていない)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

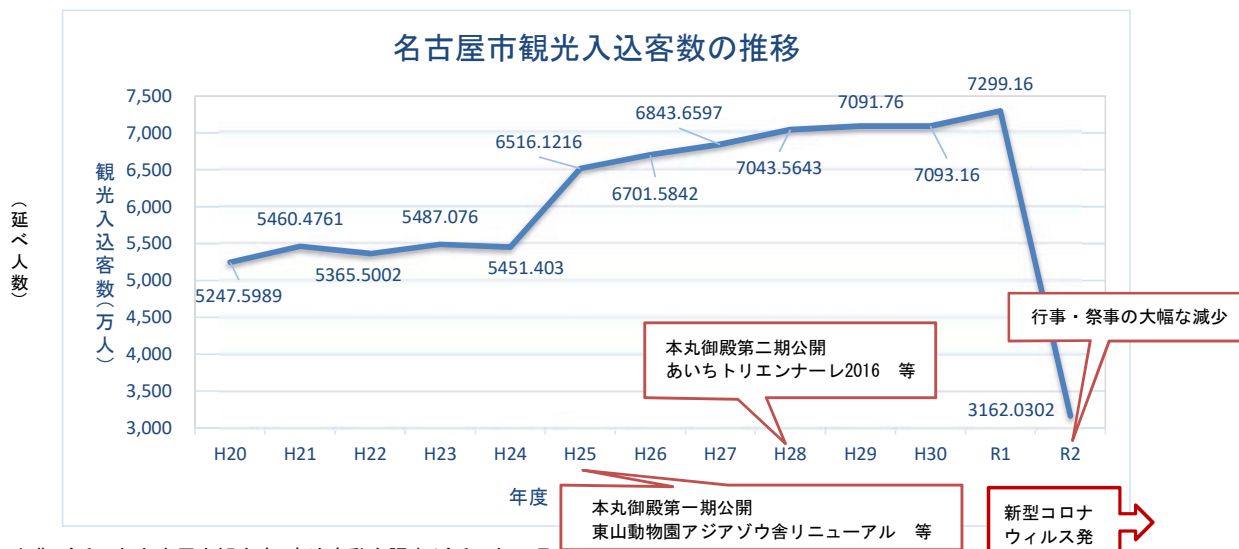
コロナウィルスの影響で観光客が激減しているが、オンラインイベントなどコロナ禍でも多数の参加を見込める方法で行事・祭事等を一部開催することができたので、引き続き多様な観光の形を検討していく。

状況を示す写真や資料等

名古屋城入場者数の推移



名古屋市観光入込客数の推移



出典: 令和2年名古屋市観光客・宿泊客動向調査(令和3年12月公表)

⇒観光庁が定める「観光入込客統計に関する共通基準(平成25年3月改訂)」に基づき
平成29年より調査期間を年度から暦年に変更。

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 名古屋市歴史的風致維持向上計画懇談会	
会議等の開催日時: 令和4年5月16日(月)	
(コメントの概要)	
〈評価シート全体について〉 ・計画に記載している内容すべてに対して定性的・定量的評価を記載すべきである。 〈主な個別事業等について〉 ・③-4「重要文化財「旧名古屋控訴院地方裁判所区裁判所庁舎」の保存・公開と市政資料館としての活用」については、展示やショーなどのイベントだけでなく、重要文化財である建物そのものの魅力を伝えるための建物ガイドツアーなども実施してはどうか。 ・③-11「徳川園の管理運営」において、国内外に発信するという計画になっているが、コロナ禍ではイベントの実施等制限があったものの、それ以外にも発信する方法があったはずなので、どれだけ努力したかが重要。 ・③-15「中川運河の再生」については、松重閘門をどのように再生していくのか注視したい。 ・③-16「栄地区まちづくりプロジェクトの推進(久屋大通公園)」については、整備前に比べて若年層・子供の来場者が増えているように感じる。広場として明るくなり、賑わいも出たと感じる。一方で元々この公園は避難所としての位置付けがあったはずなので、避難容量についても注意していただきたい。 ・③-18「歴史的建造物の登録・認定」については、登録よりも認定することで、さらに歴史的建造物の維持率が高まっている。登録でも減失が1割にとどまり、認定においては0.3割にとどまっているので認定する効果が出ていると思われる。	
(今後の対応方針)	
・事業の進捗状況を市民によりわかりやすく伝えるため、制度内容や指標などについては特に留意し、今後も具体的かつ詳細な記載に努める。 ・評価シート全体を通してある程度統一感のある評価方法に努める。 ・全体を通し、進捗評価が各事業の一層の推進ないし見直しの契機となるよう、今後とも努める。	